

海外生活 エッセー

パリ事務所

パリの身近なシェアリング —自転車シェアリング・電動キックスケーターシェアリング—

(一財)自治体国際化協会パリ事務所 所長補佐 小久保 祐樹 (香川県派遣)

→自転車シェアリング

パリ市では大気汚染対策として、交通による環境負荷の軽減に取り組んできました。パリ市は自転車利用の促進と自動車利用の抑制を目的として、世界の大都市の中ではいち早く、2007年から自転車のシェアリングサービスを導入しました。2018年からはこのサービス「Velib'」の運営事業者が代わり、時間はかかりましたが、電動自転車が追加されるなど利便性が向上しました。2018年10月現在、約1,000か所のステーションに約10,000台が設置され、1日当たり約5万4,000回の利用がされています。

2017年からは中国資本のofoやMobikeもパリでサービスを展開し、自転車シェアリングは広がりを見せています。Velib'はステーションに返却する必要がある一方、ofoやMobikeはどこにでも乗り捨てが可能であるため利便性は高いといえます。しかし、道を歩いていると乗り捨てられた自転車が通行の妨げになっていると感じることもあります。

→電動キックスケーターシェアリング

パリでは、折り畳みできるキックスケーターを使う人の姿も多く見られますが、最近、急速に普及したのが電動キックスケーターシェアリングサービスです。例えば、2018年6月からパリ市内でサービスが始まった「Lime-S」を見てみましょう。



Velib' ステーション



電動キックスケーターLime-S

Lime-SにはGPSが搭載

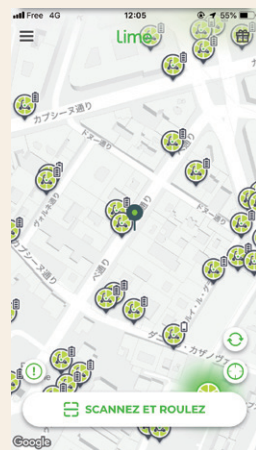
されており、近くにあるLime-Sを見つけ、利用から返却まで手続きはすべてスマートフォンのアプリを用いて行えます。ofoやMobikeと同様、どこにでも乗り捨てが可能なので、街中を歩いているとLime-Sが道端に置かれている光景を多く目にします。

利用料金は1回ごとの基本料1ユーロに、利用時間に応じ、0.15ユーロ/分が加算されます。最高時速は24km/hであり、運転免許証の携帯が必要で、ヘルメットの着用が推奨されています。歩道での走行は禁止されており、自転車専用レーンを走行します。

私も、通勤というよりも、メトロやバスでは大回りになり時間がかかってしまう場所に行く際などにこうしたシェアリングキックスケーターを使っています。アプリをダウンロードし、電話番号やSNSなどを使って登録をすればすぐに利用可能です。パリでは数多くのこうしたキックスケーターが設置されており、どこにいてもすぐに見つけることができます。

乗ってみると意外と簡単にバランスをとることができ、少し助走をすれば、アクセルボタンを押すだけで加速するため、とても楽に移動できます。パリは自転車専用レーンの整備が進んでいるため走行しやすい一方、パリに多い石畳の道路や段差では振動を直に受けるため、転倒しないよう注意する必要があると感じました。

パリを訪れた際は、美しい街並みを眺めながら、電動キックスケーターを使ってみても良いかもしれません。ただし、走行の際は右側通行などの交通ルールには十分お気をつけください。



Lime-Sのアプリ画面
多くのLime-Sが利用可能